

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	災害救援ボランティアコーディネーター養成事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	危機管理部	課等名	防災交通課		包含する細々目	1	9	1	5	10	12	
政策	4暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり											
施策	41 災害対策の推進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等							
		事業期間		年度～		年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	市民	飯田市住民基本台帳人口(人)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする		
			107938	107000			
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	災害時のボランティアの対応をするリーダー養成を行う	養成講座の開催数	18目標	最終目標			
			18実績	1	19目標	1	↑
			23目標		23実績		最終目標達成年度
			18目標		最終目標		
			18実績		19目標		↑
23目標				23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	災害時におけるボランティアリーダーの養成を行う。(社協の講座) <参考> 細々目名:災害救援ボランティアコーディネーター養成事業費	今までの養成者の復習講座を実施		
		18年度の実績		
	19年度計画	災害時のボランティア受け入れ対応者(リーダー)の養成講座	講座開催数	1

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	0	
	一般財源	200	200
事業費計(A)	200	200	
人件費	正規職員所要時間	18年度 20	19年度 20
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	72	72
	トータルコストA+B	272	272

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	災害や火災の被害を軽減する。	市民が災害にそなえている割合	現状値	40.1	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	60
		火災発生件数	現状値	51	19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標	50	

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
		特になし

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価)	結びつく	(その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価)	余地がある	(その理由)	
				ボランティアの活動により防災意識が高まる。						ボランティアリーダーが多くなれば効果は大きい。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価)	必要性がない	(その理由)			廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価)	影響あり	(その理由)
										影響あると思われるが、実証できないものである。
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価)	必要性がない	(その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)	(評価)	類似事業なし	(類似事業名、理由)	
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価)	必要ある	(その理由)	効率性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価)	不可能	(その理由)	
				市が関与しなければ防災意識の向上が図れない。						
					公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価)	妥当である	(受益者とその理由)	

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	